

政策

4 活力あふれるまち

基本方針

各種産業の振興を総合的に推進するとともに、先人から受け継いだ自然、歴史文化、また、まちに関わる人等、様々な地域資源を活用し、活力あふれるまちを目指します。



施策 4-1

シティプロモーション*の推進



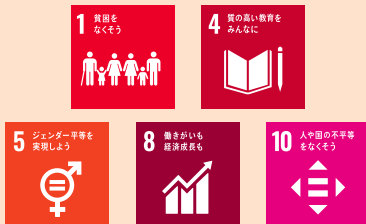
施策 4-2

地域産業の振興



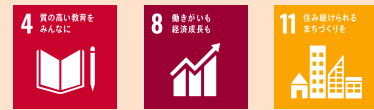
施策 4-3

就労対策の充実



施策 4-4

文化財の保存・活用



施策 4-1

シティプロモーション* の推進

施策の
目指す姿
(方向性)

まちの魅力を創出し、市内外に向けた情報発信・プロモーションを推進します。また、市民のまちへの愛着を醸成し定住促進を図るとともに、交流人口*・関係人口*の獲得や移住促進を図ります。

成果指標

指標名	基準値	目標値	ねらい
25歳から39歳までの社会増減	182人	200人	シティプロモーション*重点アプローチ対象が住みたいまちと思う状況を創ること。
25歳から39歳までのmGAP*	△88	△62	シティプロモーション*重点アプローチ対象のまちに対する推奨・参加・感謝の意欲を向上すること。

施策を取り巻く環境変化と課題

- 国における令和6年の出生数は70万人を下回っており、東京都など一部を除いて、全国的に人口減少が進んでいます。特に、若年女性の減少が続くと、出生数にも影響を与え、より一層人口減少が加速することが見込まれます。
- 人口減少が進む中で、市内外に向けてまちの魅力を効果的に発信することで、市民のまちへの愛着を醸成し、定住促進を図るとともに、交流人口*や関係人口*の獲得を図ることが重要です。
- 将来的に人口が減少していく中で、まちを持続的に発展させていくためには、地域資源の活用を通して新たな魅力を創出するとともに、市民のまちづくりへの参加意欲を高め、まちの活力へと変えていく必要があります。
- 本市においては、令和2年に転入数が転出数を上回る社会増の状況に転じており、特に、シティプロモーション*の主なターゲットとしてきた若年女性について、社会増の傾向がみられます。
- ふるさと納税制度を通して多様な主体と連携を図るなど、地域の活性化につなげるための持続可能な仕組みづくりが求められています。

施策に紐づく計画・宣言

施策に紐づく個別計画

北本市シティプロモーション*推進方針



基本事業

重点

4-1-1

まちの魅力の
効果的な発信

目指す姿

WEB・SNS*等を活用した情報発信により、市民のまちへの愛着や交流人口*・関係人口*が増加しています。

主な取組

▷ 広報きたもと・WEB・SNS*等での情報発信、市民との協働による魅力づくりと情報発信

指標

▷ 各種シティプロモーション*事業のSNS*発信数、シティプロモーション*サイトや公式note*への投稿回数

重点

4-1-2

地域資源を
活用した
まちの魅力創出

目指す姿

地域の特色を活かしたイベント等を通して新たな魅力を創出することにより、まちへの愛着やまちづくりへの参加意欲が高まっています。

主な取組

▷ マーケットの学校の実施、&green marketの開催、みどりとまつりの開催、みどりと広報部の実施、若者チャレンジプロジェクトの実施

指標

▷ 市民参加型イベント・ワークショップ実施回数、市内のマーケットの開催回数、みどりとまつりの参加者数

4-1-3

ふるさと納税を
活用した
地域活性化

目指す姿

ふるさと納税制度を通じた多様な主体との連携により、まちの魅力が高まり、地域活動が活発に行われています。

主な取組

▷ ふるさと納税、ふるさと納税返礼品の開発・採用、ふるさと納税型クラウドファンディング*、寄附者を対象とした市の体験ツアー

指標

▷ ふるさと納税の寄附額・寄附件数、ふるさと納税返礼品出品事業者数、ふるさと納税型クラウドファンディング*による支援件数



施策 4-2

地域産業の振興

施策の
目指す姿
(方向性)

持続可能な経営に向けて、担い手の育成や6次産業化*等による付加価値の高い地域産業の推進に努めます。関連団体と連携し、商店の魅力向上や市内購買率の向上を図ります。事業者が安定的に経営できるよう支援するとともに、企業との関係確保に努めることで、企業誘致を推進します。地域にある様々な資源を活用して観光の振興に努め、市内経済の活性化につなげます。

成果指標

指標名	基準値	目標値	ねらい
就業者一人当たりの市内純生産	429.6万円 (R4)	435.6万円	市内の労働生産性を向上させること。
観光入込客数	119万人	123万人	市内の観光地点及びイベント等による来訪者数を把握し、向上させること。

施策を取り巻く環境変化と課題

- 人口減少による労働力不足や市場縮小が懸念される中、市内で生産・製造された製品や「&green food」(地域の農産物や特産品)等の市内外へのプロモーション等を通して、本市のブランド・個性を高めることにより、まちの価値や豊かさを創造していくことを目指しています。
- 市内には小規模な農家が多く、農家総数、農業就業者数、経営耕地面積のいずれも減少傾向にあります。品質の高さに定評がある野菜をはじめとした農業の産出額は近年増加傾向にあります。
- 地域資源を活用し、多様な連携のもと新しい価値を生み出すことで市場拡大を図るとともに、生産性の向上や働き方改革の推進、事業承継支援等に取り組んでいく必要があります。
- 商店の減少や商店主の高齢化に伴い、商店会の活動が衰退しないよう、関連団体と連携し、市内商業を活性化する必要があります。
- 企業の誘致については、市街化区域のほか、市街化調整区域や農地を含め、法的な土地利用規制に係る関係機関との事務調整を進め、受け皿となる産業用地の創出に取り組む必要があります。
- イベント等を通じて、まちの魅力を広くPRし、来訪者を増やすことで、本市に関わるきっかけを創出することが重要です。

施策に紐づく計画・宣言

施策に紐づく個別計画

北本市産業振興ビジョン
北本市農業振興地域整備計画
北本市鳥獣被害防止計画

北本市森林整備計画
農業経営基盤の強化の促進に
関する基本的な構想

基本事業

重点

4-2-1

付加価値の高い
地域産業の推進

目指す姿

高付加価値なものを生み出し事業規模の拡大がなされています。

主な取組

- ▷ &green foodの推進、園芸の振興、販路拡大・開拓の支援、6次産業化*の推進、新規農業者への支援、農業の事業継承の支援

指標

- ▷ 農業ふれあいセンターの総売上額、&green foodのイベント実施回数、認定農業者数、農業従事者一人当たりの農業産出額、付加価値額（製造業）

重点

4-2-2

地域産業による
にぎわいづくり

目指す姿

地産地消や域内調達が拡大し、企業や家計の所得に還元されています。

主な取組

- ▷ 農業ふれあいセンターの活用、きたもと朝市の開催支援、街バルの開催支援、地域での産業ネットワークの形成、地産地消の推進、商店会活動の支援、空き店舗等の活用促進

指標

- ▷ 農業ふれあいセンターの利用者数、街バルの参加店舗数、きたもと朝市の開催回数、空き店舗等活用補助金の交付件数

4-2-3

持続可能な
経営の支援

目指す姿

後継者が不足する事業者等が廃業することなく事業を継続しています。

主な取組

- ▷ 商工会事業への補助、事業承継・創業の支援、農業の担い手支援

指標

- ▷ 特定創業支援等事業による支援を受けた市内創業者数、農業セミナーの実施回数（累計）

4-2-4

企業誘致の推進

目指す姿

市内に立地する企業が増えています。

主な取組

- ▷ 立地希望企業への相談支援・情報提供、広域交通網を活かした企業・店舗誘致

指標

- ▷ 立地相談件数、相談支援・情報提供の中から立地に結びついた件数（累計）

4-2-5

観光の振興

目指す姿

祭りやイベント等、まちの魅力を活用して交流人口*が増加しています。

主な取組

- ▷ 宵まつり・産業まつりの開催支援、森林セラピー事業の推進、みどりとまつりの開催、観光協会の運営支援、ホームページ・SNS*の活用

指標

- ▷ 宵まつり・産業まつりの参加者数、森林セラピーの参加者数、みどりとまつりの参加者数、公式観光サイトのページビュー数



施策 4-3

就労対策の充実

施策の
目指す姿
(方向性)

労働環境改善の促進や職業能力開発の支援を通し、安心していきいきと働ける環境づくりを推進します。また、若者や女性等を含む市民を対象に、地域の雇用に関する情報提供や就労の促進につながる各種支援の充実を図り、職住近接の環境づくりを推進します。

成果指標

指標名	基準値	目標値	ねらい
市内失業率	4.3% (R2)	3.9%	就労対策を充実することで、失業率の低減を図っていくこと。

施策を取り巻く環境変化と課題

- コロナ禍を経て、就労における環境変化として、DX*の進展やテレワークの普及などによる働き方の多様化が生じており、そうした変化に応じた労働環境の整備や職業能力開発の支援が求められています。
- 「働き方改革」を通して、多様な働き方を選択できる社会を実現することにより、働く人一人ひとりがよりよい将来の展望を持てるようにするとともに、人手不足の解消を図っていくことが求められています。
- 生産年齢人口が減少し、担い手不足が進む中、職住近接の状況を生み出し人口流出を抑制するため、地域での就労を促進することが必要です。
- 多様化する就労支援のニーズに応えるため、利用者のニーズに合わせたきめ細かな支援が求められています。

施策に紐づく計画・宣言

施策に紐づく個別計画

北本市産業振興ビジョン



基本事業

4-3-1

労働環境改善の 促進

目指す姿

働く人一人ひとりの意欲・能力が存分に発揮できる労働環境となっています。

主な取組 ▷ 事業者向けセミナーの開催、職場環境改善への支援

指標 ▷ 多様な働き方実践企業の認定事業所数

4-3-2

職業能力開発の 支援

目指す姿

市内の在勤在住就業者の自己研さん機会が提供されています。

主な取組 ▷ 労働セミナーの開催、職業訓練に対する各種助成の利用促進

指標 ▷ 労働セミナーの開催件数

4-3-3

雇用・就労対策の 推進

目指す姿

雇用・就労のための相談体制や機会が充実しています。

主な取組 ▷ 就労支援セミナーの開催、内職相談、ハローワークの求人情報の提供

指標 ▷ 就職支援セミナーの開催件数、内職相談による就労者数



施策 4-4

文化財の保存・活用

施策の
目指す姿
(方向性)

貴重な文化財の調査・研究・保存を進めるとともに、魅力ある文化財を活用して地域の歴史や自然、文化を学ぶことができる環境を整備します。郷土芸能の後継者育成や伝承活動等への支援を通じ、郷土芸能の継承に努めます。

成果指標

指標名	基準値	目標値	ねらい
市内文化財等の市民の認知割合		67.3% ▶▶▶ 70.0%	文化財を普及・啓発することで、市民の関心を高めること。

施策を取り巻く環境変化と課題

- 遺跡や古文書、石造物、天然記念物、郷土芸能等の文化財は、北本の歴史や自然の魅力を語る貴重な資源です。様々な文化財について調査・研究・保存に努めるとともに、重要遺跡については内容確認調査や報告書の発行等により公開を図る必要があります。また、文化財が適切に保存されるよう、関係機関等と連携していくことが重要です。
- 令和6年10月11日にデーノタメ遺跡が国指定史跡に指定されました。この遺跡については、よりよい保存・活用を目指すための計画を策定するとともに、公有地化を図り、史跡公園として整備していく必要があります。
- 文化財の保護や伝統文化の継承に係る様々な体験や活動、交流、講座等を通して、地域への愛着や誇りを醸成していくことが重要です。また、文化財について、教育や観光等、様々な分野において積極的に活用していくことが求められています。
- 郷土芸能の後継者不足は、各団体の共通の課題です。後継者育成、伝承活動の支援等を通じ、郷土芸能の継承に取り組む必要があります。

施策に紐づく計画・宣言

施策に紐づく個別計画

北本市教育振興基本計画
北本市生涯学習推進計画



基本事業

4-4-1

文化財の調査・研究

目指す姿 未指定を含めた様々な文化財の調査・研究が進んでいます。

主な取組 ▷ 未指定を含めた様々な文化財の調査・収集・整理・研究

指標 ▷ 文化財の調査件数、調査報告書の刊行数

重点

4-4-2

文化財の保存

目指す姿 貴重な文化財が適切に保存されています。

主な取組 ▷ 指定文化財の保存、文化財保護審議会の開催、文化財保存活用地域計画及び史跡デーノタメ遺跡保存活用計画の策定・推進

指標 ▷ 指定文化財の指定件数、文化財保護審議会の開催回数、デーノタメ遺跡に関する整備計画の策定進捗率

4-4-3

文化財の活用

目指す姿 貴重な文化財の価値が理解され、地域への誇りや愛着につながっています。

主な取組 ▷ 学校教育・社会教育での活用、シンポジウム・現地説明会の開催、ホームページ・SNS*・広報紙等での情報発信

指標 ▷ 学校教育・社会教育分野で文化財が活用された件数、ホームページ・SNS*・広報紙等への掲載件数、シンポジウム・セミナー・現地説明会等の開催回数

4-4-4

伝統文化の継承

目指す姿 後継者が育成され、郷土芸能が継承されています。

主な取組 ▷ 郷土芸能団体への支援、郷土芸能大会の開催

指標 ▷ 郷土芸能団体への支援回数、郷土芸能大会の参加者数、地域の祭礼及び周辺の催事等で演目を披露した件数

